

HOPE



2011.4

No.18
[市立芦屋病院だより]

平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東北地方太平洋沖地震により
被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
1 日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

病院長 あいさつ **「新病院を安心・安全の砦に」**

市立芦屋病院 病院長 **金山 良男**



このたびの東北関東大震災を、ご自身の震災体験と重ね合わせ我が事のように心配し、現地を思いやっておられる方も多数あると思います。われわれは常に災害と隣りあわせて暮らしていることも改めて思い知らされました。被災された方々に心から

お見舞い申し上げますと共に、震災復興に黙々と携わっている方々の努力が実り一刻も早い復興がかなうことを願わずにいられません。

われわれの経験した阪神淡路大震災をはるかに超える規模の、かつて誰も予想しなかった大災害、改めて気づかされた教訓は多数あります。まず、危機管理の要諦は、つまるところ一人ひとりの生命を守ること、救われた生命を大切に守ること、それに尽きまるということです。医療の果たす役割はきわめて重要です。そして、それを可能にするためには、文字通りライフラインの確保も不可欠ですが、災害に遭遇しても地域の拠点となり、自立した医療機関として一定期間持ちこたえることの

出来る堅牢堅固な施設、チームワークのとれた人員、必要十分な備蓄を備えたいわば組織としての基礎体力がまずは求められるということです。現在改築が進められている新病院には、このような構想が既に盛り込まれておりますが、この機会に一層万全なものに整えてゆきます。

大規模災害で、さらに明らかになったことは、地域の人々の絆、地縁、コミュニティを考慮しない復興はありえないということです。人々のつながりは一朝一夕に出来るものではありません。病院の中で医療を提供するだけでなく、地元の皆さんの健康を守り安心な暮らしを守るためのさまざまな活動を展開する中で、皆さんに親しんでいただき、いざというときに皆さんに頼ってもらえるような拠点となる理想の病院づくりを実現したいと考えています。

現在、新病棟の工事は着々と進行中です。新しい検査棟は従来のイメージを一新するような変貌を遂げ既に稼動を開始し、続く新病棟への期待感も高まっています。完成までのしばらくの間、建て替え工事に伴うご不便をおかけすることになりますが、何卒ご容赦いただきますようお願いいたします。

2011年 春の公開講座 ご案内

毎回多くの方に参加頂いている公開講座は、今年度も楽しんでいただける内容盛りだくさんでお送りします。トップバッターは当院事業管理者による講座で、新病棟完成まで1年を迎えた芦屋病院の今後について語っていただきます。皆さんお気軽にお越しください。

開催場所 … 芦屋市民センター401号 TEL:0797-35-0700
参加料 … 1回 200円

開催日	内容	講師
4月16日(土) 午後2時～3時30分	テーマ 『新生 芦屋病院の夢』	病院事業管理者 佐治 文隆
5月14日(土) 午後2時～3時30分	寝たきりにならない体づくり ～You can do it～	芦屋病院 リハビリ科 スタッフ
6月11日(土) 午後2時～3時30分	糖尿病の新しい診断基準と 新しい治療薬について	芦屋病院 糖尿病内科 部長：紺屋 浩之

4月

院内の催し各教室のご案内

芦屋病院 マチネーコンサート



- テーマ** 指先からこぼれるメロディーを学びましょう!!
- 日時** 4月10日(日) 午後2時30分～午後3時30分
- 場所** 外来棟5階 待合ホール 黄色いピアノ前
- 出演** 加藤純子(ソプラノ)、手話歌グループの皆さん

糖尿病教室

- テーマ** 糖尿病の治療について
- 日時** 4月8日(金) 午後1時30分～午後3時
- 場所** 南病棟1階 講義室
- 参加料** 無 料
- 問い合わせ** 市立芦屋病院 栄養管理室

市民ギャラリー

- テーマ** 植物とその作品展(仁木 麻裕)
- 日時** 4月1日～4月30日
- 場所** 市立芦屋病院5階渡り廊下 展示ギャラリー



肝臓病教室

- テーマ** アルコール性・非アルコール性肝炎、禁酒のすすめ 他
- 日時** 5月27日(金) 午後2時～午後3時30分
- 場所** 芦屋市保健福祉センター 会議室1
- 参加料** 無 料
- 問い合わせ** 市立芦屋病院 栄養管理室

両親教室

- テーマ** お産の経過・あかちゃんのお風呂
- 日時** 4月9日(土) 午前10時～12時
- 場所** 南病棟1階 講義室
- 対象** 妊娠22週以降の妊婦さんとパートナー(5組10名)
- 問い合わせ** 市立芦屋病院 産婦人科外来(電話は13時以降)

医療よろず相談 NEW

毎週火曜日午前10時～12時まで芦屋市保健福祉センターにおいて芦屋病院の看護師が医療よろず相談を行っています。料金は無料です。気軽にお越しください。

予約変更専用ダイヤルのご案内

市立芦屋病院では診察の**予約日の変更**を下記の専用ダイヤルでお伺いしております。予約担当が直接対応させていただきますのでこちらへお電話をお掛けください。



予約変更専用ダイヤル

0797-22-8841

予約変更の受付時間は**平日午後2時～午後4時まで**となっております。なお、こちらは診療予約変更の専用電話となっております。

その他お問い合わせは(代表電話)0797-31-2156へお願いします。

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

◆ ◆ ◆ 夢 ◆ ◆ ◆

巨匠 黒澤明監督の晩年の作品「夢」(1990年)は、すべてが「こんな夢を見た」で始まる全八話のオムニバス形式の映画です。いずれもカラフルな画面に監督自身が見た(?)夢が繰り広げられる、ある意味で贅沢な作品と言えます。それぞれのエピソードは趣を異にしていますが、黒澤作品特有のアクの強さがぬけていて、遊び心が溢れているように見受けられます。なかでも第八話の「水車のある村」は、まったくとした流れの中に人生の終焉を平穏に迎えたいという願いがかいま見え、印象深く感じました。宮崎駿のアニメ「もののけ姫」(1997年)のワンシーン、豊かな森に宿る樹の精「こだま」が飛び交う場面に、「夢」の水郷シーンのほのぼのとしたイメージを彷彿させるとしたのは私だけでしょうか。なんと1993年に行われた黒澤明監督と宮崎駿監督の対談で、宮崎駿は「夢」の水車のシーンへの憧憬を語っています。

夢は睡眠中、それも身体全身は脱力状態でも脳の一部が活発に活動しているレム睡眠時に見ると言われますが、実は大脳の活動がほとんど停止しているノンレム睡眠中でも見ることが判ってきました。脳波の解析で夢を見るメカニズムは徐々に解明されているようですが、なぜ夢を見るのかはよく判っていません。それどころか睡眠そのものについても未知のことが多く、「なぜ眠るのか」についても明確な解答が得られていません。そうは言っても長時間の覚醒状態は脳内に睡眠物質を蓄積させることが判っていて、数十種類の睡眠物質が判明しています。その一つプロスタグランジンD2(PGD2)は大阪バイオサイエンス研究所で先駆的な研究が行われています。PGD2はノンレム睡眠を自然に誘導することが証明されていますが、睡眠誘導物質を始めとする脳科学の研究が分子レベルで進めば、夢のコントロールも夢ではなくなるかも知れません。

夢は通常モノクロ画面で現れると言います。とは言え、多くの人が色つきの夢を見た経験があるはず。なぜ夢に色がつかのかも解明されていません。色彩に関心の深い人がカラーの夢

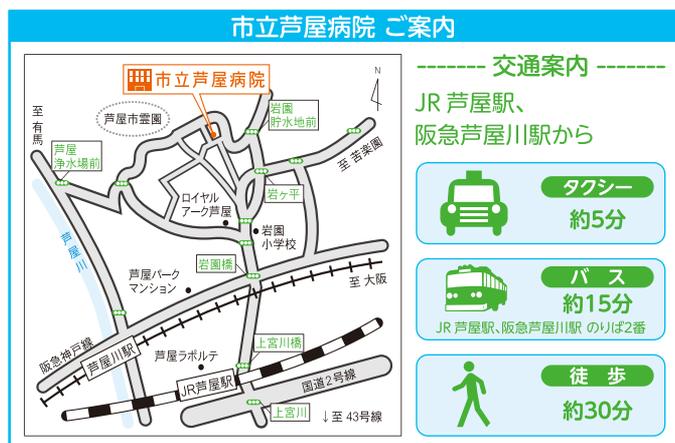
を見ると言う説もありますので、「夢」の八つの物語が全部カラーの黒澤監督などは、職業柄人並み以上に色に関心があったのかも知れません。もっとも手術の鎮痛鎮静目的で、ある種の麻酔剤を注射すると色つきの悪夢を見ると言われています。色彩への関心だけで、夢の着色を説明するのも無理なようです。

ふつうに「夢」と言えば、「よい夢」を指します。英語でも「悪夢」は"bad dream"または"nightmare"であり、"dream"とは区別されます。多くの夢は、人々の「こうありたい」「こうあって欲しい」などの願望の現れと考えられ、これを深層心理面から追求したのがフロイトです。フロイトの精神分析は精神科領域だけでなく、生物学や社会学など多くの分野に影響を及ぼしました。

では芦屋病院の「夢」は何でしょうか。私の思い描く病院像は、「安心・安全のシームレス医療」、「ICT活用医療」、「医療行政のシンクタンク機能」です。シームレス医療とは、疾病の予防・健診に始まり、芦屋病院における急性期医療、連携施設での療養、在宅医療、訪問看護、さらにはがん患者の緩和ケア医療など、地域住民に人生の終末期まで切れ目無く安心できる医療を提供することです。ICT(情報通信技術)の活用は、電子カルテや画像保存通信システムなど病院内ネットワークにとどまらず、連携医療機関との間にネットワークを構築して、患者情報の共有(どこでもMY病院)により正確で利便性の高いシステムが期待できます。ロボット手術や遠隔病理診断(テレパソロジー)は、診療レベルを間違いなく向上させるでしょう。病院は、医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、理学療法士等々、国家資格を持った多職種が集団です。これらの技術・知能集団を活用し、健康や福祉に関係する市の行政各部門、たとえば保健医療助成課、健康課、消防本部救急、学校教育部・社会教育部などと組織横断的に連携を図れば、国際文化住宅都市にふさわしい医療環境も実現できます。

夢を夢に終わらせないために、知恵を絞り、工夫を重ねてまいります。

事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧ください。



<http://www.ashiya-hosp.com>

市立芦屋病院について
さらに詳しい情報については、ホームページをご覧ください。



日本病院機能評価機構 認定施設 (ver 6)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>

市立芦屋病院 人間ドック・各種検診のご案内

暖かな気持ちのよい季節がやってきました。こんな動きやすい季節こそ、自分の体を見つめなおすきっかけに検診を受けてみませんか？

私たちのこころや体にかかる色々な負担は長い年月の中で、知らず知らずのうちに体のいろいろな部分を衰えさせ「生活習慣病」などの大きな要因となっています。芦屋病院では人間ドックをはじめ各種検診業務を行っています。日頃健康に自信のある方も危険な生活習慣病やガンを早く発見する為にぜひ検診を受けましょう。



人間ドックのご案内

芦屋病院ではチーム医療の総合力を生かし各専門医が診察、検査を担当します。女性の方には乳房撮影検査(マンモグラフィ)を、男性の方には前立腺がん検査をそれぞれ行い、検査も1日で終了し、その日のうちに結果判定までお知らせできます。(報告書は後日郵送致します) ぜひご夫婦やお友達とご一緒に人間ドックへお越しください。

検診日時 平日月曜日～金曜日 午前9時～午後4時

料金 45,000円(税込み・男女共)

※ 胃バリウム検査・胃カメラ検査は選択可。
オプション検査として脳ドック、ピロリ菌検査有り

乳がん検診・子宮がん検診

日本人の女性20人に1人が乳がんになる時代、早期発見するためには、定期的な検診が大切です。芦屋病院では乳がん検診と一緒に子宮がん検診(子宮頸がん検診)の受診もお勧めしております。

検診日時 平日月曜日～金曜日 午前9時～正午まで

対象者	乳がん検診	市内在住の40歳以上の女性
	子宮がん検診	市内在住の20歳以上の女性

料金	乳がん検診	2,000円(マンモグラフィ・視触診)
	子宮がん検診	1,000円

※ 30歳～39歳の市内在住の女性の方は400円で視触診検査を受けることができます。

胃がんハイリスク検診・ピロリ菌外来のお知らせ

胃がんハイリスク検診とは胃がんの有無を調べる胃レントゲン検査や内視鏡検査とは異なり簡単な血液検査で胃がんになるリスクを調べます。胃がんのリスクは「ピロリ菌感染」とその結果起こる「萎縮性胃炎の度合い」が深く関連しており、前者は血中ピロリ菌抗体を、後者はペプシノゲンという物質を測定することで分かります。結果は胃がんのリスクがほとんどないA群からリスクの高いD群まで4段階に分類し、郵送で報告します。検診後も、当院ではピロリ菌の除菌治療を行うピロリ菌外来を実施しており、消化器専門医が対応しますので安心して治療を受けることができます。

胃がんハイリスク検診

検診日時 平日月曜日～金曜日 午前9時～午後4時まで

対象者 20歳以上の方 **料金** 4,500円

ピロリ菌外来

診察日時 月曜日・木曜日 午後2時～午後3時まで ※完全予約制

料金	①ピロリ菌の感染診断と除菌治療	21,000円
	②ピロリ菌の除菌治療のみ	15,000円

※ 上記金額には治療後の除菌判定の検査料及び除菌治療に必要な薬代を含みます。

※ 上記検診をお申し込みされる場合は必ず電話で予約をお願いします。

検診専用電話番号 0797-21-5205 (予約受付時間：平日午前9時～午後4時)

看護師白衣リニューアルのご紹介

約10年間使用していた看護師の白衣を平成23年5月からリニューアルします。

新しくなる白衣は、療養する患者さんの気持ちを少しでも和らげ、芦屋市という風光明媚で、かつ上品な街のイメージを考慮して看護師全員の投票で選びました。

リニューアルする白衣の胸元には澄み渡った空をイメージさせる淡いブルーのラインが入ったものと、春の桜をイメージさせる淡いピンクのラインが入ったタイプの2種類があります。皆様、是非私たちを見にいらしてください。

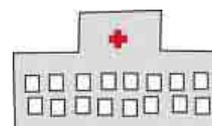


新コーナー

地域医療まもり隊 ～開業医の先生紹介～

患者さんの身近にある開業医（かかりつけ医）と専門医や設備の整った基幹病院（芦屋病院）が、より良い医療を提供する為協力しあうことを『病診連携』といい、当院ではこの病診連携に力を入れています。今年度より当院と日頃連携をとりながら診療を行っている開業医の先生方について広く市民の皆さんに知って頂こうとこちらで順次ご紹介するコーナーを設けました。

記念すべき第1号は芦屋病院と同じ敷地に立つ芦屋メディカルコミュニティの坂本泌尿器科と山内歯科口腔外科をご紹介します。地域医療を守る先生方と芦屋病院の取り組みに今後ご注目ください。



芦屋メディカルコミュニティ 坂本泌尿器科 坂本信宜 先生



大阪市立大学、大阪市立十三市民病院などを経て芦屋病院内に芦屋メディカルコミュニティ坂本泌尿器科を開院し、今年の5月で早や6年目になります。泌尿器科と言えばまだまだ二の足を踏む方が多いと感じます。患者さんの不安を取り除けるようスタッフともども明るく分かりやすい診療所を目指しています。高齢化社会の到来により、排尿に関するトラブルは増加すると予想されています。病院と連携し必要に応じて画像検査や入院加療を行っています。今後は在宅医療にも積極的に取り組む予定です。適切な診断治療を心がけ、芦屋病院はもとより周囲の病院や診療所との連携を密にして地域のみなさんの健康に貢献できるよう努力してまいります。

芦屋メディカルコミュニティ 山内歯科口腔外科 山内 義之 先生



芦屋メディカルコミュニティ山内歯科口腔外科の山内義之と申します。当院は平成18年5月に芦屋病院内で開業しました歯科医院であります。全国初の公立病院内の院内開業として早や6年になります。主に口腔外科の処置を中心に、芦屋市、西宮市などの開業歯科医院から紹介患者様を受けております。芦屋病院内でも栄養管理チームのメンバーとして「口腔ケア」を担当するなど、スムーズな病診連携を取っております。近年、器質的異常のない舌痛症など不明痛でお困りの方も増えております。お口の中に関しましてお困りの方は何なりと御相談ください。

新任スタッフ紹介



内科 渋谷 孝裕

平成23年4月1日付で市立芦屋病院内科に着任しました渋谷孝裕と申します。平成11年に高知医科大学を卒業し、神戸大学第3内科に入局、同大学病院にて研修後、淀川キリスト教病院、鐘紡記念病院にて内科診療、大阪医科大学大学院にて公衆衛生での調査研究に従事し、平成19年より淀川キリスト教病院にて糖尿病、甲状腺などの内分泌疾患を中心に診療をおこなってまいりました。芦屋病院では糖尿病パスの活用もはじまり、より一層地域の先生方との連携をはかり、安全で質の高い医療を提供できるよう頑張りたいと思います。また、人間ドックで診断されるメタボリックシンドロームや糖尿病予備軍の患者さんにおきましても早期に適切な医療介入をはかっていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



小児科 森田 拓

4月から小児科に勤務させていただきます森田拓と申します。平成10年高知医科大学（現高知大学医学部）を卒業後、同年4月に同大学小児科に入局しました。以後愛媛県立中央病院、高知県立幡多けんみん病院、高知県立安芸病院、国保旭中央病院で研修、勤務の後、高知大学医学部付属病院で一般小児科及び小児腎臓病の診療に従事してまいりました。

小児科は風邪を始めとして発達成長の悩みからアレルギー、腎臓病等々様々な患者さんが来られます。その主訴は多彩であり、小さいお子さんでは自分の辛さを訴えることが難しいこと、重症感が強いことからご家族の不安もより大きいことと思います。お子さんからの訴え、ご家族の心配に真摯に耳を傾け、すみやかな診断、治療、助言が行えるよう心掛けて行きたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



薬剤科 岡本 禎晃

4月より薬剤科に着任いたしました岡本でございます。大阪大学医学部附属病院で約20年間薬剤師として勤務してまいりました。病棟で患者さんと接する仕事为主で、最近では主にがん患者さんを対象とした緩和医療（ケア）をチームで実践してまいりました。緩和医療とは、がんの痛みを和らげるだけでなく、精神的、社会的な支援も含めてチームで取り組む医療です。また、抗がん剤の副作用の軽減など治療中から緩和医療を取り入れることで、治療成績の向上にも寄与することができます。芦屋病院においても、患者さん、ご家族もチームの一員となっただき、その方にとって最適で良質な医療を提供できるよう精進する所存であります。

また、5年前から大阪大学薬学部・薬学研究科の教員として講義や実習を担当してまいりました関係から、今後は臨床において学生指導にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。医療の発展のため、学生実習に対するご理解とご協力を賜れば幸いです。